

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

神原地区自主防災会

事業名	1	地域防災強化事業		
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日			
決算額	127,364円	助成金充当額	100,000円	
事業対象者	神原地区民	参加人数	250名	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・防災機器の点検活動(毎月1回)・防災士会議の開催(毎月1回) ・防災講演会(7月9日)・防災訓練(9月11日) ・小学校の防災学習の連携で避難所等引率し説明する。(11月18日:神原小5年生)			
事業目標	防災意識の高揚 ・防災機器の点検活動への参加者をふやす			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	毎月3名以上の参加者をめざす	36名	20名	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・55%の達成。低い目標ではあったが、災害がない地区での危機意識の高揚は難しさを感じる。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・参加された方には、避難所であるふれあいセンターにどんな機材があり、どうすればいいのかが理解していただけたものと思う。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・災害がないと言っても、いつ来るのかわからないのが災害であり、いざという時のために訓練しておくことが大切である。どうすれば危機意識の高揚ができるのか、もっともっと勉強しなければならない。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	②	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	②	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	②	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

神原地区まちづくりサークル

事業名	2	健康づくり事業		
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日			
決算額	146,016円	助成金充当額	120,000円	
事業対象者	神原地区民	参加人数	568名	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・毎月2回末永整骨院のスタッフを講師に招き健幸ストレッチ教室を実施 289名参加 ・毎月1回かみはら健康相談を実施 160名参加			
事業目標	健康づくり活動の充実 ・健康相談の参加者 毎月10名を目標とする			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	80%の達成をめざす	80%	130%	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・130%の達成率は、健康思考が定着しつつあるといえるが、昨年より少し低下した。 ・この数字が保てるよう努力していきたい。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・健幸ストレッチ教室も健康相談も地区民に浸透してきて参加者が定着してきた。高齢者も増えてきた現在、健康意識の定着を図ることは大いに必要なことである。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・十分な成果が見られるようになってきた。さらに健康意識を持たせるような工夫をしていきたい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	③
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 神原地区コミュニティ推進協議会

事業名	4	コミュニティ行事運営事業		
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日			
決算額	673,165 円		助成金充当額	243,400 円
事業対象者	神原地区民		参加人数	1,367人
事業内容	<p>(どのような事業を、どのように行ったか)</p> <p>・ソフトボール大会 5月15日(参加者 25名) ・バレーボール大会 5月22日(参加者 24名) ・夏まつり 8月6日(参加者 約300名) ・神原ポッチャ大会 6月12日(参加者50名) ・神原ボーリング大会 1月28日(参加者71名) ・三代交流つり大会 10月2日(宇部港で実施 60名参加) ・神原文化祭 10月15, 16日実施(参加者 約300名) ・新年互礼会 1月7日実施(参加者 70名) ・神原ひなまつり 2月23, 24, 25, 26日実施(参加者 467名)</p>			
事業目標	地域のふれあいの場となる行事、イベントの企画・運営			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	各行事、5回以上の会議を設ける		5回以上実施	
	<p>(達成できた、又は、できなかった要因)</p> <p>・昨年度に比べると、ほとんどの行事を実施することができた。ただ、昨年度コロナの影響で実施不可能であった行事への取り組みは、運営対策やマンパワーの半減で思うようにいかない場面もあった。</p>			
事業効果	<p>(事業の実施により、どのような効果が得られたか)</p> <p>・昨年度コロナの影響で実施不可能であった行事への取り組みが思うようにいかなかった反面、行事参加者からの好評価や次回開催への要望も得られ、次年度への活力へとつながっている。</p>			
今後の課題等	<p>(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など)</p> <p>・文体委員の在り方も、数年前と変わってきており、行事を行っていくうえで他団体との協力体制も検討していかなくてはならない。</p>			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	③
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

神原地区社会福祉協議会

事業名	5	敬老事業			
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日				
決算額	805,992 円		助成金充当額	370,000 円	
事業対象者	神原地区の高齢者		参加人数	1,120名	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・独居ふれあい昼食会を11月18日(参加者34名)と3月10日(参加者45名)2回実施 ・75歳以上の高齢者に敬老の日に記念品の配布(1,041名)を行う。				
事業目標	閉じこもりを無くし、元気で活動できる高齢者を支援する。				
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績		
	5人以上の新しい参加者を増やす	80名	79名		
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・達成率98.7%。まばらではあるが新しい参加者の顔ぶれも見られた。男性の参加が少なく、これからの課題である。				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・毎回参加されている方も多く、この会を楽しみにしておられる。講話や軽い体操などを入れ、高齢者に生活の支援になる事柄等を加味し、この会を企画している。				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・独居ふれあい昼食会はもう少し男性の参加者が増えるような工夫をする必要がある。 ・高齢者敬老記念品の配布について、年々高齢者数も増加しており、予算的にも今後のあり方を一考しなければならない時期にきている。				
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	②	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	③
	今後も事業継続できますか		1	2	③

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

神原地区コミュニティ推進協議会

事業名	6	広報・デジタル事業		
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日			
決算額	808,933 円		助成金充当額	350,000 円
事業対象者	神原地区民		参加人数	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・神原だより編集会議 ・毎月、編集会議の実施 ・デジタル化会議の実施(基本的に第2・第4火曜日) ・ホームページやSNSによる広報活動 ・各コミュニティ団体による行事・イベントの広報活動			
事業目標	地区民による主体的な広報活動 ・デジタル化会議に若い世代の増員を図る。			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	毎年1～2名の若い世代の増員	1名	1名	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・今年度は、若い世代が1名増えたので良かった。 ・ホームページやSNSでの発信は極力行っているが、まだまだ定着していないので思ったような成果はでていない。あせらず続けることが必要である。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・徐々にではあるが、いろいろな場面でデジタル化を活用し、活動しているがすぐに成果を求めるのは難しい。継続していくことにより成果を得られるものと考え、これからも取り組んでいきたい。 ・会議を行うことで、みんながどうすれば成果が上がるか、アイデアがだされ企画されている。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・神原だよりは老若関係なく、読みやすく、読みたくするような記事・構成を工夫しなければならない。 ・これからの時代を考えれば、ホームページやSNSの活用は切っても切れないものとなってくる。今、一部の人間で作成しているが、これを多くの地域の人より企画されるようにならなければ地域に定着したものとはならない。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

神原地区コミュニティ推進協議会

事業名	7	コミュニティ菜園事業		
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日			
決算額	65,277円	助成金充当額	50,000円	
事業対象者	神原地区民	参加人数	50人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・玉葱・サツマイモの栽培を行い行事に活用 ・栽培した物の販売(100円袋にし、センターで販売。すぐに売れ袋づめが大変だった。) ・畑の貸し出し(19畝)			
事業目標	多くの住民のコミュニケーションの場づくり ・貸し出し20畝をめざす			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	90%実現をめざす	20畝	19畝	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・達成率95%。菜園らしくなり、にぎわいがでてきた。 ・団体行事などの場面で、活動する人が限られてきてやや消極化している。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・野菜づくりに興味のある人の参加が増え、菜園にコミュニケーションが生まれるようになってきた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・女性の参加者がほとんどで力仕事になると人手不足となる。男性の参加者・協力者をもっと増やしていかなければならない。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	③
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

子ども会育成連絡協議会
文化体育委員協議会
事業実施団体 ふるさと運動部会
地域活動連絡協議会
母子保健推進委員会

事業名	8	子ども育成事業		
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日			
決算額	353,896円	助成金充当額	130,000円	
事業対象者	神原地区民	参加人数	約600名	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・子ども会行事の運営(神子連ドッチビー大会、市子連ドッチビー大会、宿泊野外研修) ・中学校での「子育て広場」の開催 ・ちびっ子サークルの開催(2回実施) ・三世代交流つり大会(子ども多数参加) ・竹細工5講座、ソーメン流し、しめ縄、餅つき開催			
事業目標	より多くの参加者を増やす ・竹細工や昔遊び講座の参加者を30人を目標とする			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	80%の参加をめざす	50人	45人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・達成率90% 目標は達成できた。昨年コロナのため中止した「流しソーメン」が開催できた。感染対策として、4レーン作った。			
事業効果	・コロナ化の中で多くの子どもたちの参加がえられ、子ども達の喜ぶ姿が見られた。「どうしたらできるのか」アイデアを出しながら実施することの必要性を感じた。中止をかけるのが一番無難で簡単ではあるが、それでは何も求められない。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・子どもたちにいろいろな体験をさせ、活動する喜びを与えてやりたい。地域の活性化のためにも子どもたちに活力を与えてやる必要がある。地域の子どもたちは地域で育てるという信条でこれからもしっかり活動していきたい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体
ふれあい運動推進委員会
交通安全推進委員会
防犯連絡所指導員協議会

事業名	9	安心・安全事業		
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日			
決算額	177,256 円	助成金充当額	30,000 円	
事業対象者	神原地区民	参加人数	1,550名	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・月2回の夜のパトロール (参加者 延べ150名) ・青パトによる登下校の見守り (延べ400名) ・登下校時の見守り活動・交通指導 (延べ1000名)			
事業目標	安心・安全な街づくりをめざす ・子ども・高齢者の事故をなくす			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	子ども・高齢者の事故0	0	0	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・達成できた。登下校の見守りや、青パトによるパトロール等地道な活動の成果であろう。今後も悲惨な事故がないよう見守りたい。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・登下校時の見守り、交通指導、青パトでのパトロール、第1・第3月曜日の夜のパトロール活動、地道な毎日の活動によって安心・安全な街づくりが営まれている。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・どの団体も高齢化が進み、継続していくためには若い住民の参画を募らないといけない。地域が安心・安全であるために、早急に進めなければならない問題ととらえている。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③